

# サイエンスレクチャー 2026

開園100周年を記念し開始したサイエンスレクチャー、生物や多様性保全、植物園に関わるさまざまな話題を、専門家がわかりやすく解説します。

時間：13:30~15:00（受付13:00~）

場所：植物園会館 2階 研修室、定員60名（受付13:00~先着順）

主催：京都府立植物園・京都府立大学 新自然史科学創生センター・  
きょうと生物多様性センター

2026年 6月 21日(日)

きょうとの年中行事と植物の呪的利用：

どんな植物がマジカルパワーを持つのか

國學院大學 伊藤 新之輔 氏



ヒイラギとイワシ



オミナエシ

テントリバナと白い花



タニウツギ



京都府立植物園

お問い合わせ先 京都府立植物園 京都市左京区下鴨半木町 TEL 075-701-0141

■入園料 一般500円 65歳以上・高校生250円 中学生以下無料 ■入園時間 9:00~16:00(17:00閉園)

※時期により時間延長、早朝開園等を実施します。

※入園料のみで観覧温室にもお入りいただけます ■温室入室時間 10:00~15:30 (16:00閉室)

※障害者の方及び介護者の方（証明できるものを提示）は入園料無料

■アクセス JR「京都駅」・近鉄「京都駅」・阪急「烏丸駅」から地下鉄「北山駅」下車3番出口すぐ又は同「北大路駅」車3番出口から東へ徒歩約10分

◆ご来園には地下鉄・市バスをご利用ください◆

# サイエンスレクチャー2026

4月19日(日)

昆虫は、どのようにして植物に、変な形をした虫こぶを作るのか？

～虫こぶ形成メカニズムの謎に迫る～

佐藤 雅彦(京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授)

5月 5日(火)

不思議な生きもの 地衣類

山本 好和(秋田県立大学 名誉教授)

6月21日(日)

きょうとの年中行事と植物の呪的利用：

どんな植物がマジカルパワーを持つのか

伊藤 新之輔(国学院大学・昭和女子大学 兼任講師)

7月19日(日)

くさい植物のアレコレや進化の話

奥山 雄大(国立科学博物館 植物研究部多様性解析・保全グループ 研究主幹)

7月26日(日)

アリを用心棒に雇うオオバギ属アリ植物の自然史

市岡 孝朗(京都大学大学院地球環境学堂・人間・環境学研究科 教授)

8月2日(日)

ギンリョウソウ

一森の地下の「細かな結びつき」と緑を捨てた植物の生き方

松田 陽介(三重大学 大学院生物資源学研究科教授)

8月9日(日)

世界最大の花・ラフレシアの謎に迫る

竹内 やよい(大阪公立大学 大学院理学研究科 教授)

9月19日(土)

キモイ開口部の果囊をもつイヌビアとイヌビワコバチの一生

蘇 智慧(そ ちけい)氏(JT生命誌研究館シニア研究員)

10月24日(土)

史上最悪の侵略植物ナガエツルノゲイトウ

今井 博之(甲南大学理工学部生物学科植物細胞工学研究室教授)

11月29日(日)

未定:ダチョウの餌になる植物について

塚本 康浩(京都府立大学学長)